

死者のためのミサ

朗祈 死者の日

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（一テサロニケ4・14、一コリント15・22）

イエスが死んで復活されたように、神は、イエスのうちに眠った人々をイエスとともに連れて来られる。アダムによつてすべての人が死ぬ者となったように、キリストによつてすべての人が生きる者となる。

集会祈願

恵み豊かな神よ、復活された御子キリストに従うわたしたちの信仰を強め、死者の復活を待つわたしたちの希望を不動のものとしてください。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

第一朗読

知恵の書（知恵3・1―6、9）

神に従う人の魂は神の手で守られ、もはやいかなる責め苦も受けることはない。

愚か者たちの目には彼らは死んだ者と映り、

この世からの旅立ちが災い、

自分たちからの離別が破滅に見えた。

ところが彼らは平和のうちにいる。

人間の目には懲らしめを受けたように見えても、不滅への大いなる希望が彼らにはある。

わずかな試練を受けた後、豊かな恵みを得る。

神が彼らを試し、

御自分にふさわしい者と判断されたからである。

ゑるつぼの中の金のように神は彼らをえり分け、

焼き尽くすいけにえの献げ物として受け入れられた。

主に依り頼む人は真理を悟り、

信じる人は主の愛のうちに主と共に生きる。

主に清められた人々には恵みと憐れみがあり、

主選ばれた人は主の訪れを受けるからである。

第二朗読

使徒パウロのローマの教会への手紙（ローマ 8・31

b | 35、37 | 39）

皆さん、³⁵もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。³⁶わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。

³⁷だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。

人を義としてくださるのは神なのです。³⁸だれがわたしたちを罪に定めることができますよう。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださいのです。³⁹だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができますよう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。

⁴⁰しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してください方によって輝かしい勝利を収めています。⁴¹わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、⁴²高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。

答唱詩編

〔典〕

123

①②④

（詩編 23・2+3、4、6）

〔答〕 主はわれらの牧者、
わたしは乏しいことがない。

神はわたしを緑のまきばに伏させ、
いこいの水辺に伴われる。
神はわたしを生き返らせ、
いつくしみによって

正しい道にみちびかれる。

〔答〕

たとえ死の陰の谷を歩んでも、
わたしはわざわいを恐れない。

あなたがわたしとともにおられ、

そのむちとつえはわたしをまもる。

〔答〕

神の恵みといつくしみに

生涯伴われ、

わたしはとこしえに

神の家に生きる。〔答〕

アレルヤ唱

〔ア〕

560 ⑧（ヨハネ6・40）、または〔典〕

275 ⑤

アレルヤ、アレルヤ。わたしの父の意志は、子を見て信じる者が永遠のいのちを保ち、終わりの日に復活することである。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読

ヨハネによる福音（ヨハネ6・37―40）

そのとき、イエスは人々に言われた。6:37「父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのところに

来る。わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない。☞わたしが天から降って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである。☞わたしをお遣わしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。☞わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。」

奉納祈願

いつくしみ深い父よ、ここにささげる供えものを受け入れてください。亡くなった人々が御子の復活のいのちにあずかり、わたしたちも、この秘跡によってキリストに結ばれますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 死者一（または死者二―四）

聖なる父、全能永遠の神、いづどこでも主・キリストによって賛美と感謝をささげることが、まことにとうといたいせつな務め（です）。

キリストのうちにわたしたちの復活の希望は輝き、死を悲しむ者も、とこしえのいのちの約束によって慰められます。信じる者にとって、死は滅びではなく、新たないのちへの門であり、地上の生活が終わった後も、天に永遠の住みかが備えられています。

神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりにくほめ歌います。

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（ヨハネ 11・25―26）

わたしは復活であり、いのちである。わたしを信じる人は死んでも生きる。わたしを信じて生きる人は、永遠に死ぬことはない。

拝領祈願

いつくしみ深い父よ、御子キリストの過越の神秘にあずかり、世を去った人のために祈ります。亡くなったすべての人が、光と平和の国に導かれますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

荘厳な祝福

